

# はぐくみ

No.105

令和2年1月21日発行

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/hagukumi.html>

## 新学習指導要領全面実施に向けて

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願いたします。

さて、各学校におかれましては、来年度の教育課程の編成を進めていることと思います。御承知の通り来年度は、小学校が全面実施となります。特に、小学校での外国語科(5.6年生)・外国語活動(3.4年生)については、新しい教科書が採択されそれに沿った指導計画の編成は待ったなしとなります。さらに小学校では、プログラミング教育の趣旨の理解を進め、各学校においてプログラミング教育を実施する場面を、教育課程全体を見渡しながら適切に位置付ける必要があります。

中学校においても令和3年度の全面実施を見据え、小学校同様「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」、「カリキュラム・マネジメント」などについて、その理念の理解をさらに進めながら教育課程の編成をお願いいたします。

なお、学習評価は現行学習指導要領の4観点から新学習指導要領では3観点となります。学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものとして、「児童生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、その在り方は重要です。教育課程の編成に伴い、学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進めることが求められます。

年度末の忙しい日々とは存じますが、来年度のスムーズなスタートとともに、何より、目の前の子どもたちの確かな学力を育むために、この3学期できることをしっかりと進めていきましょう。

### 【小学校】

- 新学習指導要領各教科等の内容の確認と全面実施に向けての準備。
- 外国語科及び外国語活動の全面実施の最終準備。
- プログラミング教育についての理解と位置付け。
- 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善。
- カリキュラム・マネジメントの推進。
- 学習評価の在り方。

### 【中学校】

- 新学習指導要領各教科等の内容の確認と移行措置最終年度としての理解と準備。
- 「特別の教科 道徳」の授業改善。
- 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善。
- カリキュラム・マネジメントの推進。
- 学習評価の在り方。

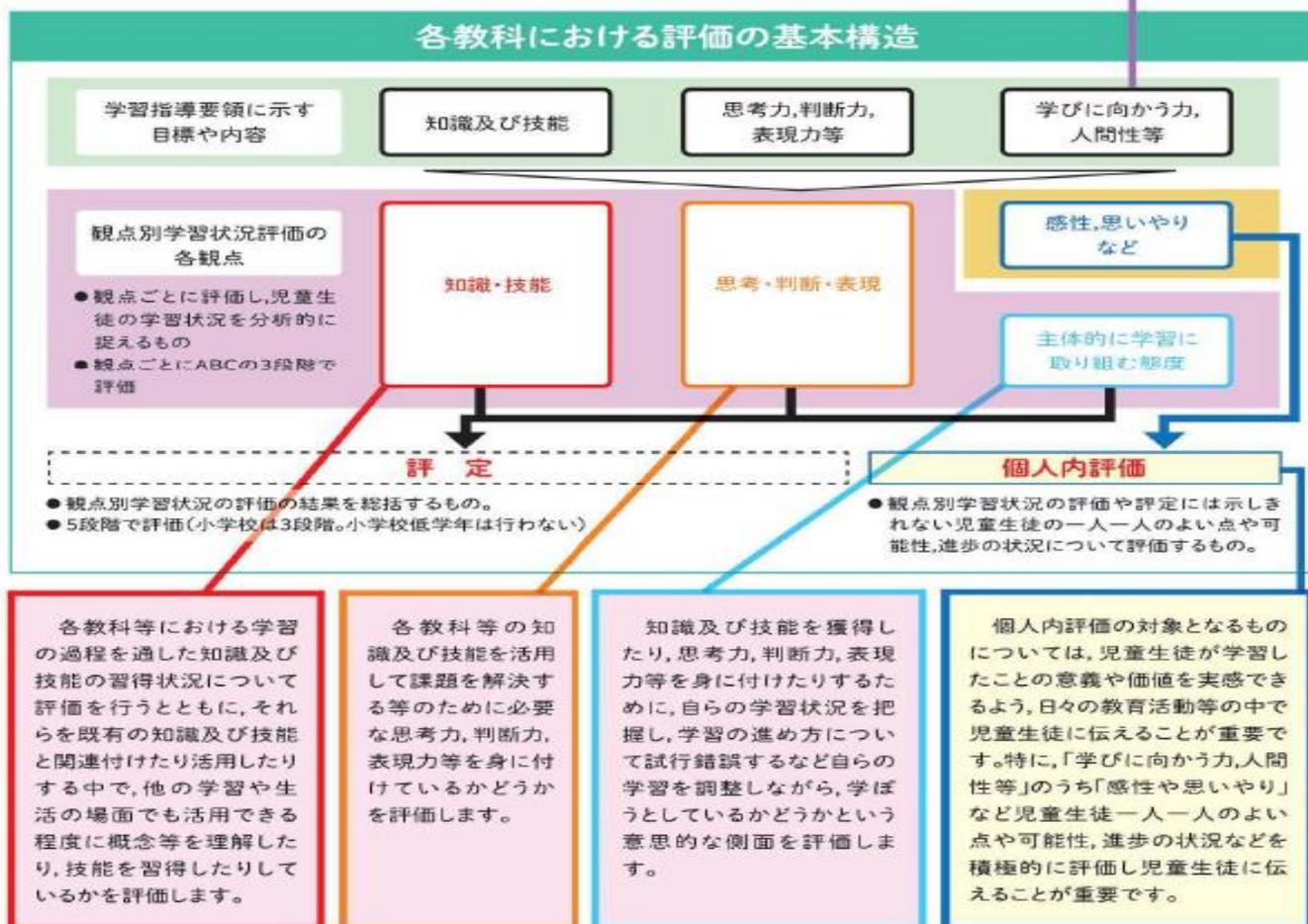
### 【学習評価に関する参考資料】

- 山梨県教育委員会（総合教育センターHP ピーチウェア内掲載）  
『令和元年度 新教育課程説明会 各教科等説明資料』
- 文部科学省ウェブサイト掲載  
『平成29・30年改訂の学習指導要領下における学習評価に関するQ&A（令和元年11月5日時点）』
- 国立教育政策研究所  
『学習評価の在り方ハンドブック』小・中学校編  
『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（案）』

『学習評価の在り方ハンドブック』小・中学校編より

平成29年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

「学びに向かう力、人間性等」には  
 ①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価(学習状況を分析的に捉える)を通じて見取ることができる部分と、  
 ②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。



◆◆ 令和元年度初任者研修授業研修会 ◆◆

本年度の初任者研修授業研修会は、小学校対象者 20 名が加納岩小学校において、中学校対象者 9 名が石和中学校において研修を重ねてきました。研修はそれぞれの学校において下記の 5 回が開催されました。

加納岩小学校		石和中学校	
説明・師範授業	教科等	説明・師範授業	教科等
小池 美樹 教諭	校内研究	中込 瑞穂 教諭	校内研究
雨宮 正倫 教諭	学級活動	鈴木 佑介 教諭	道 徳
平井 祥子 教諭	音 楽	倉沢 祐基 教諭	国 語
原藤 生府 教諭	理 科	大塚 淳一 教諭	数 学
小池 美樹 教諭	英 語	吉川 章 教諭	理 科

この間、嶋崎修加納岩小校長先生、蘆田俊哉石和中校長先生をはじめ、両校の先生方の御尽力により、師範授業の提供、校内研究の説明等を通して、初任者としての心構えや児童生徒の実態に寄り添った授業づくりの方法、児童生徒の授業での見取り方等々、充実した授業研修会を実施していただきました。

今月、29 名全ての初任者から「授業研修会記録簿」が事務所に届きました。その記述には、教員としての使命感をもつこと、児童生徒の目線に立つこと、実践的指導力を養うこと、幅広い知見を得ること、社会人として謙虚に生きること等々、生きた言葉が綴られていました。これも実習校の先生方の御指導の賜です。初任者の皆さんには、実習校の先生方から学んだことを今後の授業実践・教育活動に思う存分生かしてほしいと思います。実習校の先生方に改めて感謝いたします。

